

# 教 育 課 程

〔2018 年度以降入学者に適用〕

表示の説明	
授業科目 コード	授業科目ごとに付された6桁のコード（「2」+5桁の英数字） 授業時間割には、授業ごとに付された「時間割番号」が記載されている。
授業科目	正式な授業科目名が教育課程に示されている。 （授業時間割その他では省略した名称を用いる場合がある。）  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <b>授業科目名の記号・番号の見方</b>            ○○○○A、○○○○B：内容の区別を示す。（履修の順序は定めない。）            ○○○○Ⅰ、○○○○Ⅱ：ゆるやかな段階履修を示す。            （Ⅰが前期、Ⅱが後期に開講されている場合には、            続けて履修することが望ましい。）            ○○○○1、○○○○2：段階履修を示す。            （2を履修するには、1の単位修得が前提条件）         </div>
授業期間 （15週単位）	「1」……前期または後期の1学期間の授業を示す。 「2」……通年の授業を示す。
毎週授業時間	「2」（2時間）は、毎週1コマ（90分）の授業を示す。（「4」は毎週2コマ）
単位数	その授業科目を履修し試験に合格した場合、与えられる単位数 （「東京女子大学学則」第11条参照）
必修・ 選択必修・ 選択の別	「必修」……卒業までに必ず単位を修得しなければならない必修科目 「選択必修」……決められた範囲の授業科目の中から選択して必ず単位修得しなければならぬ科目 「選択」……各自の学習計画により選択履修する科目。卒業に必要な130単位の中に含まれる。  学科科目については、その学科に所属する学生にとっての必修科目、選択必修科目、選択科目の別を示す。 教職課程、学芸員課程については、資格を取得するための必修科目、選択必修科目の別を示す。
学科共通/ 専攻の区分	その科目を設置している学科・専攻を示す。
専攻指定	指定された専攻の学生のみが履修できることを示す。他専攻の学生は履修できない。
履修年次	必修科目、選択必修科目……履修しなければならない年次を示す。 選択科目……履修することが望ましい年次を示す。 いずれも指定年次以上の学生は履修することができる。
備考	クラス数、通年科目、開講計画（隔年開講等）等（開講計画は変更される場合がある。）

◆公認心理師課程・日本語教員養成課程・キャリア・イングリッシュ課程・副専攻の教育課程は、  
188ページ以降のそれぞれの項目を参照

## (1)総合教養科目〔2018年度以降入学者に適用〕

注1 総合教養科目は、以下の①②の10科目計18単位を必修とする。

《国際英語学科、人文学科、国際社会学科、心理・コミュニケーション学科》

①8科目計16単位

「女性の生きる力」、「人間自身を知る」、「人間の知的生産」、「人間社会の仕組みと問題」の4領域から必ず各1科目2単位、「人間と自然科学」領域から必ず2科目計4単位を含め8科目計16単位（「女性のウェルネス」はこの16単位には含まない）。

ただし、哲学専攻、日本文学専攻、社会学専攻、心理学専攻、コミュニケーション専攻の学生については、下表に示す授業科目の単位を、①の必修16単位に含めることはできるが、当該領域の必修2単位に充当することはできない。

ただし、哲学専攻、日本文学専攻、社会学専攻、心理学専攻、コミュニケーション専攻の学生については、下表に示す授業科目の単位を、①の必修16単位に含めることはできるが、当該領域の必修2単位に充当することはできない。

学科・専攻	授業科目	領域	
人文学科	哲学専攻	現代人の哲学	人間自身を知る
	日本文学専攻	日本の文学	人間の知的生産
国際社会学科	社会学専攻	社会学と現代社会	人間社会の仕組みと問題
心理・コミュニケーション学科	心理学専攻	こころの科学 こころと社会 こどものこころ	人間自身を知る
	コミュニケーション専攻	統計のしくみ 統計分析を学ぶ	人間社会の仕組みと問題

②「女性のウェルネス」領域の「女性のウェルネス・身体運動Ⅰ」及び「女性のウェルネス・身体運動Ⅱ」の2科目計2単位

《数理科学科》

①8科目計16単位

「女性の生きる力」、「人間と自然科学」、「人間自身を知る」、「人間の知的生産」、「人間社会の仕組みと問題」の5領域から必ず各1科目2単位を含め8科目計16単位（この16単位に含むことのできる「人間と自然科学」領域の科目は、2科目計4単位までとする。また、「女性のウェルネス」はこの16単位には含まない。）

ただし、下表に示す授業科目の単位を、①の必修16単位に含めることはできない。

学科・専攻	授業科目	領域	
数理科学科	数学専攻	代数と幾何の基礎	人間と自然科学
	情報理学専攻	代数と幾何の考え方とその応用 微分と積分の基礎 微分と積分の考え方とその応用 確率統計の基礎	

②「女性のウェルネス」領域の「女性のウェルネス・身体運動Ⅰ」及び「女性のウェルネス・身体運動Ⅱ」の2科目計2単位

2 外国人正規課程留学生は、挑戦する知性科目のうち次の科目の単位を、下記のとおり総合教養科目の各領域の単位に代えることができる。

「日本事情A」2単位 → 「人間社会の仕組みと問題」領域の2単位

「日本事情B」2単位 → 「人間の知的生産」領域の2単位

「日本事情C」2単位 → 「人間自身を知る」領域の2単位

「日本事情D」2単位 → 「人間の知的生産」領域の2単位

授業科目コード	授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次	備考
<b>女性の生きる力</b>							
2SK101	女性学・ジェンダーを学ぶ	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	2クラス
2SK102	女性とジェンダーの歴史	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK103	キャリアデザインを描く	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK104	政治とジェンダー	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK105	国際協力とジェンダー	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	2単位必修
2SK106	国際社会と女性の人権	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK107	現代の家族とジェンダー	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK108	女性のウェルビーイング	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK109	女性と福祉	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK110	女性と表現	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK111	総合教養演習(女性の生きる力)	1	2	2	選択必修	2・3・4	
<b>人間と自然科学</b>							
2SK201	自然科学のあゆみ	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK202	現代の科学と技術	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK203	暮らしの中の物質	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK204	エネルギーと人類	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK205	宇宙の科学	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK206	地球の科学	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	国際英語学科、人文科学、
2SK207	地球環境の科学	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	国際社会学科、
2SK208	自然環境と人間社会	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	心療・コミュニケーション学科
2SK209	生物と環境	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	の学生は4単位必修、
2SK210	生命と医療の科学	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	数理科学科の学生は
2SK211	人類の誕生と進化	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	2単位を必修としこの領域の
2SK212	脳の科学	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	必修単位として数えること
2SK213	遺伝の科学	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	のできる単位数は4単位
2SK214	数学の世界	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	までとする。
2SK215	情報の数学	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK216	代数と幾何の基礎	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK217	代数と幾何の考え方とその応用	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK218	微分と積分の基礎	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK219	微分と積分の考え方とその応用	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK220	確率統計の基礎	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK221	総合教養演習(人間と自然科学)	1	2	2	選択必修	2・3・4	
<b>人間自身を知る</b>							
2SK301	こころの科学	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	3クラス
2SK302	こころと社会	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK303	こどものこころ	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK304	こころの健康	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK305	こころの進化	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK306	思考と論理	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK307	科学技術と倫理	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	2単位必修
2SK308	現代人の哲学	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK309	西洋の哲学のあゆみ	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK310	東洋の哲学のあゆみ	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK311	比較思想	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK312	宗教学	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK313	日本宗教史	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK314	宗教と現代社会	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK315	総合教養演習(人間自身を知る)	1	2	2	選択必修	2・3・4	

授業科目コード	授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次	備考
<b>人間の知的生産</b>							
2SK401	ことばの世界	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	2クラス
2SK402	日本の文学	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK403	児童文学	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK404	比較文学	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK405	比較文化	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	チューンレクチャー
2SK406	宗教音楽	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	2クラス
2SK407	音楽芸術	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	2クラス
2SK408	音楽史	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	2クラス
2SK409	美術論	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	①と②を交互に開講 ①「美術論」「映像論」 ②「舞台芸術論」
2SK410	映像論	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK411	舞台芸術論	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK412	日本文化史	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK413	日本の伝統芸能	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK414	世界の地域と民族	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK415	ヨーロッパの歴史と文化	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK416	アメリカの歴史と文化	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK417	ラテンアメリカの歴史と文化	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK418	アジアの歴史と文化	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK419	民俗学	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK420	歴史の見方	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK421	現代史の諸相	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK422	アーカイブの世界	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK423	総合教養演習(人間の知的生産)	1	2	2	選択必修	2・3・4	
<b>人間社会の仕組みと問題</b>							
2SK501	日本国憲法	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	3クラス
2SK502	公共政策と法	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK503	市民社会と法	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK504	国際社会と人権	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK505	自治と行政	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK506	社会学と現代社会	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK507	地域社会論	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK508	社会保障と社会福祉	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK509	情報と社会	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK510	現代社会と教育	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK511	近現代日本の政治史	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	2単位必修
2SK512	国際社会と日本	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK513	平和学	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK514	ヨーロッパの比較政治	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	交互に開講
2SK515	アジアの比較政治	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK516	日本の産業と企業	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK517	日本経済のしくみ	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK518	グローバル経済のしくみ	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	交互に開講
2SK519	アジアの経済事情	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK520	国際金融と貿易	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK521	統計のしくみ	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK522	統計分析を学ぶ	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK523	エネルギー産業と国民生活	1	2	2	選択必修	1・2・3・4	
2SK524	総合教養演習(人間社会の仕組みと問題)	1	2	2	選択必修	2・3・4	

授業科目コード	授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次	備考
	<b>女性のウェルネス</b>						
2SK601	女性のウェルネス・身体運動Ⅰ	1	2	1	必修	1	27クラス
2SK602	女性のウェルネス・身体運動Ⅱ	1	2	1	必修	1	27クラス
	<b>講義</b>						
2SK611	からだの科学	1	2	2	選択	1・2・3・4	
2SK612	発育と発達	1	2	2	選択	1・2・3・4	
2SK613	栄養と健康	1	2	2	選択	1・2・3・4	
2SK614	現代社会と身体	1	2	2	選択	1・2・3・4	
2SK615	女性の健康科学	1	2	2	選択	1・2・3・4	
2SK616	性と生命(セクソロジー)	1	2	2	選択	1・2・3・4	
2SK617	女性の心身コンディショニング	1	2	2	選択	2・3・4	
	<b>実習</b>						
2SK621	スポーツA	1	2	1	選択	2・3・4	
2SK622	スポーツB	1	2	1	選択	2・3・4	
2SK623	スポーツC	1	2	1	選択	2・3・4	
2SK624	スポーツD	1	2	1	選択	2・3・4	
2SK625	フィジカルエクササイズA	1	2	1	選択	2・3・4	2クラス
2SK626	フィジカルエクササイズB	1	2	1	選択	2・3・4	2クラス
2SK627	フィジカルエクササイズC	1	2	1	選択	2・3・4	
2SK628	身体表現A	1	2	1	選択	2・3・4	「身体表現C」と交互に開講
2SK629	身体表現B	1	2	1	選択	2・3・4	
2SK630	身体表現C	1	2	1	選択	2・3・4	「身体表現A」と交互に開講

(2) 挑戦する知性科目〔2018年度以降入学者に適用〕

授業科目コード	授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次	備 考
2CC101	女性の起業	1	2	2	選択	1・2・3・4	
2CC102	PBLキャリア構築講座	1	2	2	選択	2・3・4	
2CC103	ニューヨーク国連研修	1	2	2	選択	2・3・4	
2CC104	ケンブリッジ教養講座	2	2	2	選択	2・3・4	本学の実施する海外研修の成果により単位認定 通年科目
2CC105	英語特別プログラム	2	2	2	選択	2・3・4	通年科目 4クラス
＜以下の4科目は外国人留学生のみ履修できる＞							
2CC121	日本事情A*	1	2	2	選択	1	総合教養科目の「人間社会の仕組みと問題」2単位に代替 外国人正規課程留学生は必修
2CC122	日本事情B*	1	2	2	選択	1	総合教養科目の「人間の知的生産」2単位に代替 外国人正規課程留学生は必修
2CC123	日本事情C*	1	2	2	選択	2	総合教養科目の「人間自身を知る」2単位に代替 外国人正規課程留学生は必修
2CC124	日本事情D*	1	2	2	選択	2	総合教養科目の「人間の知的生産」2単位に代替 外国人正規課程留学生は必修
＜以下の演習6科目はキャリア・イングリッシュ課程登録者のみ履修できる＞							
2CC201	Critical Thinking演習**	1	2	2	選択	2	2クラス
2CC202	発話・パフォーマンス演習**	1	2	2	選択	2	2クラス
2CC203	討論演習Ⅰ**	1	2	2	選択	3	2クラス
2CC204	討論演習Ⅱ**	1	2	2	選択	3	2クラス
2CC205	Total Presentation演習Ⅰ**	1	2	2	選択	4	3クラス
2CC206	Total Presentation演習Ⅱ**	1	2	2	選択	4	3クラス

注1 \*印の科目は外国人留学生のみ履修できる。

注2 \*印の科目は外国人正規課程留学生は必修。

「日本事情A」、「日本事情B」、「日本事情C」、「日本事情D」各2単位は、総合教養科目の下記領域の各2単位に代えることができる。

「日本事情A」→「人間社会の仕組みと問題」領域の2単位

「日本事情B」→「人間の知的生産」領域の2単位

「日本事情C」→「人間自身を知る」領域の2単位

「日本事情D」→「人間の知的生産」領域の2単位

注3 \*\*印の科目を履修するには、所定のキャリア・イングリッシュ課程登録を行っていないといけない。

挑戦する知性科目の教育課程一部改正に伴い、2018年度に外国人留学生特別科目「日本事情A」「日本事情B」の単位を修得した者の単位を下記のとおり読み替える。

記

2018年度に修得した

2ZZ105「日本事情A」(2単位)の単位は、  
2CC121「日本事情A」(2単位)の単位とする。

2018年度に修得した

2ZZ106「日本事情B」(2単位)の単位は、  
2CC122「日本事情B」(2単位)の単位とする。

### (3) キリスト教学科目〔2018年度以降入学者に適用〕

授業科目コード	授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次	備考
2XX101	キリスト教学Ⅰ(入門Ⅰ)	1	2	2	必修	1	10クラス
2XX102	キリスト教学Ⅰ(入門Ⅱ)	1	2	2	必修	1	10クラス
2XX201	キリスト教学Ⅱ(旧約聖書の世界)	1	2	2	選択必修	2・3・4	
2XX202	キリスト教学Ⅱ(新約聖書の世界)	1	2	2	選択必修		
2XX203	キリスト教学Ⅱ(キリスト教と女性)	1	2	2	選択必修	2・3・4	
2XX204	キリスト教学Ⅱ(キリスト教の歴史)	1	2	2	選択必修	2・3・4	
2XX205	キリスト教学Ⅱ(日本のキリスト教)	1	2	2	選択必修	2・3・4	
2XX206	キリスト教学Ⅱ(世界のキリスト教)	1	2	2	選択必修	2・3・4	
2XX207	キリスト教学Ⅱ(キリスト教と社会)	1	2	2	選択必修	2単位必修	2・3・4
2XX208	キリスト教学Ⅱ(キリスト教と現代の宗教事情)	1	2	2	選択必修		
2XX209	キリスト教学Ⅱ(キリスト教と倫理)	1	2	2	選択必修	2・3・4	
2XX210	キリスト教学Ⅱ(キリスト教の思想)	1	2	2	選択必修	2・3・4	
2XX211	キリスト教学Ⅱ(キリスト教と芸術)	1	2	2	選択必修	2・3・4	
2XX212	キリスト教学Ⅱ(キリスト教と文学)	1	2	2	選択必修	2・3・4	
2XX301	キリスト教学Ⅲ(聖書と文化)	1	2	2	選択	2・3・4	1クラス
2XX302	キリスト教学Ⅲ(キリスト教の歴史と文化)	1	2	2	選択	2・3・4	
2XX303	キリスト教学Ⅲ(キリスト教の思想と文化)	1	2	2	選択	2・3・4	

注1 「キリスト教学Ⅲ」の各科目は、「キリスト教学Ⅰ(入門Ⅰ)」、「キリスト教学Ⅰ(入門Ⅱ)」及び「キリスト教学Ⅱ」を履修した者が履修することができる。

2 必修単位を超えて修得した「キリスト教学Ⅱ」の単位は、自由選択科目の単位となる。

## (4) 外国語科目〔2018年度以降入学者に適用〕

## ア. 第一外国語

授業科目コード	授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次	備考
2FF101	Communication Skills A	1	2	1	必修	1	40クラス
2FF102	Communication Skills B	1	2	1	必修	1	40クラス
2FF103	Reading I A	1	2	1	必修	1	40クラス
2FF104	Reading I B	1	2	1	必修	1	40クラス
2FF105	Discussion Skills A	1	2	1	必修	2	40クラス
2FF106	Discussion Skills B	1	2	1	必修*	2	33クラス
2FF107	Reading II A	1	2	1	必修	2	40クラス
2FF108	Reading II B	1	2	1	必修*	2	33クラス
2FF111	Speaking Skills A	1	2	1	選択必修	2・3・4	5クラス
2FF112	Speaking Skills B	1	2	1	選択必修	2・3・4	5クラス
2FF113	Listening and Presentation A	1	2	1	選択必修	2・3・4	5クラス
2FF114	Listening and Presentation B	1	2	1	選択必修	2・3・4	5クラス
2FF115	Critical Reading and Discussion A	1	2	1	選択必修	2・3・4	5クラス
2FF116	Critical Reading and Discussion B	1	2	1	選択必修	2・3・4	5クラス
2FF117	Journalistic English A	1	2	1	選択必修	2・3・4	4クラス
2FF118	Journalistic English B	1	2	1	選択必修	2・3・4	4クラス
2FF119	Academic Writing A	1	2	1	選択必修	2・3・4	3クラス
2FF120	Academic Writing B	1	2	1	選択必修	2・3・4	3クラス
2FF121	English through Drama A	1	2	1	選択必修	2・3・4	
2FF122	English through Drama B	1	2	1	選択必修	2・3・4	
<b>English for Specific Purposes</b>							
2FF131	Business English A	1	2	1	選択必修	2・3・4	
2FF132	Business English B	1	2	1	選択必修	2・3・4	
2FF133	Translation A	1	2	1	選択必修	2・3・4	3クラス
2FF134	Translation B	1	2	1	選択必修	2・3・4	3クラス
2FF135	Tour Guide Interpreting A	1	2	1	選択必修	2・3・4	
2FF136	Tour Guide Interpreting B	1	2	1	選択必修	2・3・4	
<b>English Proficiency Test Classes</b>							
2FF141	TOEIC講座	1	2	1	選択必修	1・2・3・4	6クラス
2FF142	TOEFL講座	1	2	1	選択必修	1・2・3・4	4クラス
2FF143	IELTS講座	1	2	1	選択必修	1・2・3・4	4クラス
2FF151	Basic Communicative English	1	4	2	選択	1	週2コマ 2クラス
2FF152	Intensive English	2	2	2	選択	1・2・3・4	本学の実施する海外語学研修(英語)及び本学が あらかじめ認めた外国の大学が実施する語学研修 (英語)の成果により単位認定 通年科目
<以下の2科目は外国人留学生のみ履修できる>							
2FF161	日本語Ⅰ(入門)**	1	8	4	必修	1	週4コマ 外国人正規課程留学生は必修
2FF162	日本語Ⅱ(応用)**	1	8	4	必修	1	週4コマ 外国人正規課程留学生は必修

- 注1 2年次、3年次に「Reading II A」を履修するには、「Reading I A」又は「Reading I B」を1単位修得していなければならない。
- 2 2年次、3年次に「Reading II B」を履修するには、「Reading I A」又は「Reading I B」を1単位修得していなければならない。
- 3 国際英語学科の学生は、「\*」印の「Discussion Skills B」「Reading II B」の2科目計2単位の履修を免除する。
- 4 「Basic Communicative English」は、入学時に実施するプレシメントテストの結果に基づき、指示のあった者を履修対象とする。
- 5 本学に入学する前に在学した大学又は短期大学において修得した単位の認定により、又は大学以外の教育施設等における知識及び技能審査(実用英語技能検定、TOEFL、TOEIC、IELTS)の成果に係る学修により第一外国語の1年次必修4単位をすべて認定された者は、「Discussion Skills A」、「Discussion Skills B」、「Reading II A」及び「Reading II B」の4科目計4単位を1年次に履修することができる。
- 6 大学以外の教育施設等における知識及び技能審査(実用英語技能検定、TOEFL、TOEIC、IELTS)の成果に係る学修により第一外国語の必修8単位をすべて認定された者は、履修年次が2年次以上の選択必修科目を在籍する年次にかかわらず履修することができる。
- 7 \*\*印の科目は外国人留学生のみ履修できる。
- 8 外国人正規課程留学生は、\*\*印の「日本語Ⅰ(入門)」及び「日本語Ⅱ(応用)」の2科目計8単位を第一外国語の必修8単位とする。



## イ. 第二外国語

授業科目コード	授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次	備考
2FF201	ドイツ語初級	2	4	4	選択必修	1	週2コマ 6クラス 通年科目
2FF202	フランス語初級	2	4	4	選択必修	1	週2コマ 7クラス 通年科目
2FF203	スペイン語初級	2	4	4	選択必修	1	週2コマ 11クラス 通年科目
2FF204	中国語初級	2	4	4	選択必修	1	週2コマ 12クラス 通年科目
2FF205	韓国語初級	2	4	4	選択必修	1	週2コマ 8クラス 通年科目
2FF211	ドイツ語(読解)A	1	2	1	選択	2・3・4	前期・後期 } 10クラス
2FF212	ドイツ語(読解)B	1	2	1	選択	2・3・4	
2FF213	ドイツ語(作文と文法)	1	2	1	選択	2・3・4	
2FF214	ドイツ語(会話)	1	2	1	選択	2・3・4	
2FF221	フランス語(読解)A	1	2	1	選択	2・3・4	前期・後期 } 12クラス
2FF222	フランス語(読解)B	1	2	1	選択	2・3・4	
2FF223	フランス語(作文と文法)	1	2	1	選択	2・3・4	
2FF224	フランス語(会話)	1	2	1	選択	2・3・4	
2FF231	スペイン語(読解)A	1	2	1	選択	2・3・4	前期・後期 } 10クラス
2FF232	スペイン語(読解)B	1	2	1	選択	2・3・4	
2FF233	スペイン語(作文と文法)	1	2	1	選択	2・3・4	
2FF234	スペイン語(会話)	1	2	1	選択	2・3・4	
2FF241	中国語(読解)A	1	2	1	選択	2・3・4	前期・後期 } 16クラス
2FF242	中国語(読解)B	1	2	1	選択	2・3・4	
2FF243	中国語(作文と文法)	1	2	1	選択	2・3・4	
2FF244	中国語(会話)	1	2	1	選択	2・3・4	
2FF251	韓国語(読解)A	1	2	1	選択	2・3・4	前期又は後期 } 10クラス
2FF252	韓国語(読解)B	1	2	1	選択	2・3・4	
2FF253	韓国語(作文と文法)	1	2	1	選択	2・3・4	
2FF254	韓国語(会話)	1	2	1	選択	2・3・4	

- 注1 ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語の各読解A、読解B、作文と文法、会話を履修するには、同じ言語の初級4単位を修得していなければならない。
- 2 ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語の各読解A、読解B、作文と文法、会話は、同一授業科目を重ねて履修することができる。
- 3 ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語の各初級は、第二外国語の必修科目として履修する以外に、第三、第四、第五、第六の外国語として2年次から履修することができる。ただし、本学入学時に第二外国語の必修4単位を認定された者は、1年次から履修することができる。
- 4 本学に入学する前に在学した大学又は短期大学において修得した単位の認定により第二外国語の必修4単位を認定された者は、認定された言語の読解A、読解B、作文と文法、会話を在籍する年次にかかわらず履修することができる。
- 5 大学以外の教育施設等における知識及び技能審査(ドイツ語技能検定試験、実用フランス語技能検定試験、スペイン語技能検定試験、中国語検定試験、韓国語能力試験、「ハングル」能力検定試験)の成果に係る学修により第二外国語の初級4単位を認定された者は、認定された言語の読解A、読解B、作文と文法、会話を在籍する年次にかかわらず履修することができる。
- 6 第二外国語の必修科目として履修する以外の言語について一定の条件を満たすと認められた者は、注1に定める読解A、読解B、作文と文法、会話の履修条件及び在籍する年次にかかわらず、当該言語の読解A、読解B、作文と文法、会話を履修することができる。
- 7 外国人正規課程留学生は、上記の定めによらず、次の科目から指定するいずれか5単位を第二外国語の必修とする。

第一外国語(英語)の1年次必修4科目計4単位および選択必修科目から1科目1単位

## ウ. ギリシア語・ラテン語

授業科目コード	授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次	備考
2FF301	ギリシア語初級1	1	2	1	選択	1・2・3・4	
2FF302	ギリシア語初級2	1	2	1	選択	1・2・3・4	
2FF303	ラテン語初級1	1	2	1	選択	1・2・3・4	
2FF304	ラテン語初級2	1	2	1	選択	1・2・3・4	
2FF305	ギリシア語中級	1	2	1	選択	2・3・4	隔年開講
2FF306	ラテン語中級	1	2	1	選択	2・3・4	隔年開講

- 注1 「ギリシア語初級2」を履修するには、「ギリシア語初級1」1単位を修得していなければならない。  
 2 「ラテン語初級2」を履修するには、「ラテン語初級1」1単位を修得していなければならない。  
 3 ギリシア語、ラテン語の各中級は、同一授業科目を重ねて履修することができる。

## (5) 日本語科目〔2018年度以降入学者に適用〕

授業科目コード	授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次	備考
2NN101	日本語表現法	1	2	2	選択	1・2限定	10クラス

## (6) 情報処理科目〔2018年度以降入学者に適用〕

授業科目コード	授業科目	授業期間 (15週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	履修年次	備考
2JJ101	情報処理技法(リテラシ) I	1	2	2	必修	1	27クラス
2JJ102	情報処理技法(リテラシ) II	1	2	2	必修	1	27クラス
2JJ201	情報処理技法(Cプログラミング) I	1	2	2	選択	1・2・3・4	2クラス
2JJ202	情報処理技法(Cプログラミング) II	1	2	2	選択	2・3・4	
2JJ203	情報処理技法(Javaプログラミング) I	1	2	2	選択	1・2・3・4	2クラス
2JJ204	情報処理技法(Javaプログラミング) II	1	2	2	選択	2・3・4	
2JJ205	情報処理技法(マルチメディアと表現) I	1	2	2	選択	1・2・3・4	3クラス
2JJ206	情報処理技法(マルチメディアと表現) II	1	2	2	選択	2・3・4	2クラス
2JJ207	情報処理技法(UNIXリテラシ)	1	2	2	選択	1・2・3・4	
2JJ208	情報処理技法(統計解析)	1	2	2	選択	2・3・4	3クラス
2JJ209	情報処理技法(ネットワークとセキュリティ)	1	2	2	選択	2・3・4	
2JJ210	情報処理技法(Webでの情報表現)	1	2	2	選択	2・3・4	
2JJ301	コンピュータ・サイエンス I	1	2	2	選択	1・2・3・4	
2JJ302	コンピュータ・サイエンス II	1	2	2	選択	1・2・3・4	

注1 情報処理科目の選択科目を履修するには、「情報処理技法(リテラシ) I」を履修していなければならない。ただし、「コンピュータ・サイエンス I」及び「コンピュータ・サイエンス II」は、当該履修条件にかかわらず履修することができる。

2 本学に入学する前に在学した大学又は短期大学において修得した単位の認定により「情報処理技法(リテラシ) I」2単位を認定された者は、情報処理科目の選択科目を在籍する年次にかかわらず履修することができる。

(7) 学 科 科 目  
(ア) 国際英語学科

\* 国際英語学科の学生は、自学科目のうち必修科目、選択必修科目合わせて64単位を修得しなければならない。  
\* 1年次の自学科目の履修は、20単位を上限とする。

教育課程

授業科目コード	授業科目	授業期間 (1授業単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・選択の別	学科共通/専攻の区分	専攻指定	履修年次	備考
<b>基盤講義</b>									
211001	国際英語と女性の生き方	1	2	2	選択	国際英語		1	
211002	異文化理解A	1	2	2	選択	国際英語		2・3	
211003	異文化理解B	1	2	2	選択	国際英語		2・3	
211004	Japanese Culture & Literature	1	2	2	選択	国際英語		2・3	日本文学専攻と共有
211005	英語グローバル人材論	1	2	2	必修	国際英語		2	3クラス
211006	English Studies 基礎論 (文学研究)	1	2	2	選択必修	国際英語		2	
211007	English Studies 基礎論 (批評研究)	1	2	2	選択必修	国際英語		2	
211008	English Studies 基礎論 (文化研究)	1	2	2	選択必修	国際英語		2	
211009	English Studies 基礎論 (言語と社会)	1	2	2	選択必修	国際英語		2	
211010	English Studies 基礎論 (言語の構造)	1	2	2	選択必修	国際英語		2	
211011	英語教育基礎論A	1	2	2	選択必修	国際英語		2	
211012	英語教育基礎論B	1	2	2	選択必修	国際英語		2	
211013	第二言語習得基礎論A	1	2	2	選択必修	国際英語		2・3	コミュニケーション専攻と共有
211014	第二言語習得基礎論B	1	2	2	選択必修	国際英語		2・3	コミュニケーション専攻と共有
211015	言語の多様性と普遍性A	1	2	2	選択必修	国際英語		2・3	コミュニケーション専攻と共有
211016	言語の多様性と普遍性B	1	2	2	選択必修	国際英語		2・3	コミュニケーション専攻と共有
211017	翻訳基礎論	1	2	2	選択必修	国際英語		2	
211018	通訳基礎論	1	2	2	選択必修	国際英語		2	
211019	Professional English 基礎論	1	2	2	選択必修	国際英語		2	
<b>特殊講義</b>									
211101	英語文化リソース論	1	2	2	選択必修	国際英語		2・3・4	
211102	テーマ研究 (ジェンダー研究)	1	2	2	選択必修	国際英語		2・3・4	
211103	テーマ研究 (英米文学)	1	2	2	選択必修	国際英語		2・3・4	
211104	テーマ研究 (英語と世界文学)	1	2	2	選択必修	国際英語		2・3・4	
211105	テーマ研究 (英語教育と第二言語習得)	1	2	2	選択必修	国際英語		2・3・4	
211106	テーマ研究 (Professional English)	1	2	2	選択必修	国際英語		2・3・4	
211107	比較文化A	1	2	2	選択	国際英語		2・3・4	日本文学専攻と共有
211108	比較文化B	1	2	2	選択	国際英語		2・3・4	「比較文化A・B」と「映像文化A・B」を交互に開講
211109	表象文化A	1	2	2	選択	国際英語		2・3・4	日本文学専攻と共有
211110	表象文化B	1	2	2	選択	国際英語		2・3・4	日本文学専攻と共有
211111	英語文学 (演劇)	1	2	2	選択必修	国際英語		3・4	「英語文学演習(演劇)」と交互に開講
211112	英語文学 (小説)	1	2	2	選択必修	国際英語		3・4	「英語文学演習(小説)」と交互に開講
211113	英語文学 (詩)	1	2	2	選択必修	国際英語		3・4	「英語文学演習(詩)」と交互に開講
211114	英語文学 (児童文学)	1	2	2	選択必修	国際英語		3・4	「英語文学演習(児童文学)」と交互に開講
211115	英語文学 (比較文学)	1	2	2	選択必修	国際英語		3・4	「英語文学演習(比較文学)」と交互に開講
211116	英語文学 (映像と言語表現)	1	2	2	選択必修	国際英語		3・4	「英語文学演習(映像と言語表現)」と交互に開講
211117	イギリス文学史I	1	2	2	選択必修	国際英語		3・4	
211118	イギリス文学史II	1	2	2	選択必修	国際英語		3・4	
211119	アメリカ文学史I	1	2	2	選択必修	国際英語		3・4	
211120	アメリカ文学史II	1	2	2	選択必修	国際英語		3・4	
211121	英語文化研究特論A	1	2	2	選択必修	国際英語		2・3・4	
211122	英語文化研究特論B	1	2	2	選択必修	国際英語		2・3・4	
211123	英語学 (意味論)	1	2	2	選択必修	国際英語		3・4	「英語学演習(意味論)」と交互に開講
211124	英語学 (語用論)	1	2	2	選択必修	国際英語		3・4	「英語学演習(語用論)」と交互に開講
211125	英語学 (音韻論)	1	2	2	選択必修	国際英語		3・4	「英語学演習(音韻論)」と交互に開講
211126	英語学 (形態・統語論)	1	2	2	選択必修	国際英語		3・4	「英語学演習(形態・統語論)」と交互に開講
211127	英語学 (社会言語学)	1	2	2	選択必修	国際英語		3・4	「英語学演習(社会言語学)」と交互に開講
211128	英語学 (英語史)	1	2	2	選択必修	国際英語		3・4	
211129	英語指導法	1	2	2	選択必修	国際英語		2・3	
211130	児童英語指導法	1	2	2	選択必修	国際英語		2・3	
211131	第二言語習得研究法	1	2	2	選択必修	国際英語		2・3	
211132	翻訳学特論	1	2	2	選択必修	国際英語		2・3・4	
211133	通訳学特論	1	2	2	選択必修	国際英語		2・3・4	
<b>基盤演習</b>									
211201	1年次演習 (国際英語)	1	2	2	必修	国際英語	国際英語	1	1クラス
211202	Study Abroad 基礎演習	1	2	2	必修	国際英語	国際英語	1	1クラス
211203	First-Year English Seminar I	1	4	4	必修	国際英語	国際英語	1	週2コマ 1クラス
211204	First-Year English Seminar II	1	4	4	必修	国際英語	国際英語	1	週2コマ 1クラス
211205	Second-Year English Seminar	1	2	2	必修	国際英語	国際英語	2	1クラス
211206	Research Project for Study Abroad	1	2	2	必修	国際英語	国際英語	2	1クラス

## X. 日本語教員養成課程

現在の日本では、情報化・グローバル化によって、急速に多文化・多言語共生が進んでいます。しかし、国内全域で多言語併用が急速に進む状況にあるとは言えません。広く共有される伝達手段として、日本語が今後長期にわたって継続使用されることが予想されます。一方海外においても、さまざまな理由により日本語学習者は着実に増加しています。国内外で日本語非母語話者に対する日本語学習を奨励する理由は多く見出されます。ただし、彼らに対して、日本語言語文化への適用を一方的に強制するかたちの日本語教育を実施するのは、国際社会において期待される対応とは言えません。いま求められているのは、国際人としての必要条件を満たした上でバランスのとれた日本語支援を行うことのできる人材です。そのような人材育成のニーズに応えるべく、東京女子大学は、日本語教員養成課程を設置しています。

### 日本語教員養成課程の到達目標

キリスト教を基盤としたリベラル・アーツ教育を教育の根幹とし、社会・国家・世界の中で自己確立して生きる女性を育成するという本学の教育理念を承けて、鋭い言語感覚、豊かな国際感覚と人間性、言語に関する知識や能力を身につけ、バランスのとれた日本語支援を行う人材を育成する。それに加え、異文化間コミュニケーションを促進し、多文化共生を媒介する役割をも担える人材に育成する。

### 日本語教員養成課程の概要

東京女子大学の日本語教員養成課程は、2000年3月に文化庁国語課から刊行された「日本語教育のための教員養成について」に示された次の日本語教員としての資質および専門的能力を備えた人材を育成するための総合的教育内容です。そのため、言語学、日本語教育に関する専門科目を土台としたうえで、幅広い分野からカリキュラムを編成しています。

#### ●日本語教員としての資質

- (ア) 言語教育者として必要とされる、学習者に対する実践的なコミュニケーション能力を有していること
- (イ) 日本語ばかりでなく、広く言語に対して深い関心と鋭い言語感覚を有していること
- (ウ) 国際的な活動を行う教育者として、豊かな国際的感覚と人間性を備えていること
- (エ) 日本語の専門家として、自らの職業の専門性とその意義についての自覚と情熱を有すること

#### ●専門的能力

- (ア) 言語に関する知識・能力
- (イ) 日本語の教授に関する知識能力
- (ウ) その他、日本語教育の背景をなす事項についての知識・能力

日本語教員養成課程は、いずれの学科の学生も履修することができます。ただし、履修にあたっては、各科目が配置されている学科等の履修条件に従う必要があります。また、各科目の履修者数を制限する場合は、科目の配置学科・専攻の学生が優先されます。なお、日本語教員養成課程の必修科目は、すべて心理・コミュニケーション学科コミュニケーション専攻に置かれています。

(「第二言語習得基礎論A・B」は心理・コミュニケーション学科と国際英語学科の共有。)

日本語教員養成課程を履修するには、2年次履修登録時に所定の課程登録を行い、日本語教員養成課程の教育課程に従って、所定の40単位以上を修得しなければなりません。

現在日本語教員には、法に基づく免許制度はありませんが、日本語教員養成課程を修了した者には、卒業時に「日本語教員養成課程修了証」を交付します。

## 科目の履修について

履修にあたって、いくつか注意すべき点があります。

第一は、心理・コミュニケーション学科コミュニケーション専攻の7科目が必修であるということです（「第二言語習得基礎論A・B」は、心理・コミュニケーション学科と国際英語学科の共有）。

第二は、必修科目が段階履修になっていることです。各年次で指定された必修科目は、必ずその年次に単位を修得すること。

3年次必修科目の「日本語教育研究Ⅰ・Ⅱ」を履修するためには、2年次必修科目の「日本語教育研究概論Ⅰ」又は「日本語教育研究概論Ⅱ」のうち1科目2単位と「第二言語習得基礎論A」又は「第二言語習得基礎論B」のうち1科目2単位の計2科目4単位を修得していることが必要です。4年次必修科目の「日本語教育実習」を履修するためには、2年次必修科目4科目8単位に加え、3年次必修科目の「日本語教育研究Ⅰ」又は「日本語教育研究Ⅱ」のうち1科目2単位の計5科目10単位を修得していることが必要です。

第三に、選択必修科目の範囲が6つの区分に分かれていて、非常に広範囲であるということです。そのため、2年次からしっかりと履修計画を立てることが必要になります。

なお、履修登録に当たっては、授業開始に先立ち、予備登録やクラス分けを行う科目がありますので、掲示に注意してください。

### 必修科目の授業時間割（2020年度） <2年次以上対象>

履修年次	時間割番号	授業科目名	開講学期	曜日・時限
2年次	242236	日本語教育研究概論Ⅰ	前期	金・5
	242237	日本語教育研究概論Ⅱ	後期	金・5
	242245 211013	第二言語習得基礎論A	前期	火・2
	242246 211014	第二言語習得基礎論B	後期	火・2
3年次	242238	日本語教育研究Ⅰ	前期	火・3
	242239	日本語教育研究Ⅱ	後期	火・3
4年次	242501	日本語教育実習	通年	金・4

### 「日本語教育実習」の履修について

「日本語教育実習」（4年次必修科目）では、日本語教育の実践経験を通して、日本語学習者の学習目的に応じたコース・デザインや具体的な学習支援活動について考えます。事前準備・実践・フィードバックを経て、実習報告会での発表およびレポートにより成果をまとめます。実践の部分は学内または学外において3つの形態に分かれて行います。なお、詳細については、3年次後期に配布する「日本語教育実習の手引」を参照してください。「日本語教育実習」を履修する学生は、4年次始めに日本語教育実習料の納入が必要です。

## 日本語教員養成課程の説明会等について

日本語教員養成課程を履修するには、所定の課程登録、授業科目の履修登録の他、次のとおり手続および説明会への参加が必須です。いずれも日時、会場等の詳細は、実施の1か月前に学務課掲示板に掲示するので、各自掲示に注意して、必ず出席してください。

1. 1年次の6月（今年度は6月23日（火）12時30分～） **説明会Ⅰ**  
 対象：日本語教員養成課程の履修を希望する（1年次）学生  
 内容：日本語教員養成課程の履修について基本的な全般的な説明  
     ① 日本語教員とは ② 課程の概要および履修方法・費用について  
     ③ 課程登録について ④ 履修希望調査 他
2. 2年次の4月（今年度は4月2日（木）10時30分～） **説明会Ⅱ**  
 対象：当年度に課程登録および2年次必修科目の履修登録をする（2年次）学生  
 内容：課程登録の手続について、履修計画について
3. 2年次の4月 履修登録時 **日本語教員養成課程登録**  
 Webシステムにて申請を行うこと。（特別な費用は不要）

<以降の手続および説明会は課程登録者を対象とします。>

4. 2年次の7月（今年度は7月3日（金）18時10分～） **説明会Ⅲ**  
 対象：課程登録を済ませ、2年次必修科目を履修する（2年次）学生  
 内容：2年次後期以降の履修計画について
5. 3年次の4月（今年度は4月2日（木）12時～） **説明会Ⅳ**  
 対象：当年度に3年次必修科目の履修登録をする（3年次）学生  
 内容：3年次以降の履修計画について
6. 3年次の10月（日時は追って掲示する） **説明会Ⅴ**  
 対象：次年度に「日本語教育実習」の履修を希望する（3年次）学生  
 内容：「日本語教育実習」を含めた4年次の履修計画について
7. 3年次の1月（日時は追って掲示する） **説明会Ⅵ**  
 対象：次年度に「日本語教育実習」の履修を希望する（3年次）学生  
 内容：「日本語教育実習」の実施内容・形態の説明および予備登録
8. 4年次の4月（今年度は4月2日（木）9時30分～） **説明会Ⅶ**  
 対象：「日本語教育実習」を履修登録する（4年次）学生  
 内容：「日本語教育実習」の諸手続（日本語教育実習料の納入等）について

日本語教員養成課程について不明の点は、以下の部署で確認してください。

履修方法・課程登録・修了証の取得要件についての質問……………学務課  
 授業についての質問……………各科目の配置学科等  
 （必修科目の授業(含む日本語教育実習)についての質問は、日本語教員養成課程事務室へ）

### 日本語教育能力検定試験について

日本語教員養成課程でリストアップされている履修科目は、日本語教育能力検定試験の出題範囲に対応しています。日本語教育関連の職業に就くためには、この試験に合格することは非常によい条件となりますから、この課程に登録している学生は、2～4年次までの間に受験しておくことを奨励します。

日本語教員養成課程 教育課程〔2018年度以降入学者に適用〕

履修の手引

区分	授業科目	単位数	履修年次	日本語教員養成課程としての 必修・選択必修・選択の別	科目配置 学科等	備考			
社会・文化・地域	日本語教育概論	日本語教育研究概論Ⅰ*	2	2	必修 2単位	心理・コミュニケーション学科			
		日本語教育研究概論Ⅱ*	2	2	必修 2単位	心理・コミュニケーション学科			
	日本と世界	歴史の見方	2	1・2・3・4	選択必修	総合教養科目	隔年開講		
		地域社会論	2	1・2・3・4	選択必修				
		国際社会と日本	2	1・2・3・4	選択必修				
		グローバル経済のしくみ	2	1・2・3・4	選択必修				
		アジアの経済事情	2	1・2・3・4	選択必修				
		国際金融と貿易	2	1・2・3・4	選択必修				
		国際関係論Ⅰ	2	1・2	選択必修				
		国際関係論Ⅱ	2	1・2	選択必修				
		文化人類学Ⅰ	2	1・2	選択必修				
		コミュニケーション構想論	2	1・2	選択必修				
	グローバル共生とコミュニケーション	2	1・2	選択必修	4単位	国際社会学科	隔年開講		
	東アジア社会基礎論	2	1・2	選択必修	必修	国際社会学科	隔年開講		
文化社会学	2	2・3・4	選択必修		国際社会学科	隔年開講			
多文化教育	2	2・3・4	選択必修		心理・コミュニケーション学科				
異文化接触	国際社会学	2	2・3・4	選択必修		国際社会学科	隔年開講		
言語と社会	言語と社会	ことばの世界	2	1・2・3・4	選択必修	総合教養科目			
		比較文化A	2	2・3・4	選択必修	国際英語学科/人文学科	隔年開講		
		英語学(社会言語学)	2	3・4	選択必修	国際英語学科	隔年開講		
		社会言語学A	2	2・3・4	選択必修	人文学科/心理・コミュニケーション学科			
		社会言語学B	2	2・3・4	選択必修	4単位 人文学科/心理・コミュニケーション学科			
		ことばと文化	2	2・3・4	選択必修	必修 心理・コミュニケーション学科			
	言語使用	英語学(語用論)	2	3・4	選択必修		国際英語学科	隔年開講	
	異文化コミュニケーション		対人コミュニケーション(社会)	2	2・3・4	選択必修		心理・コミュニケーション学科	
			対人コミュニケーション(ジェンダー)	2	2・3・4	選択必修		心理・コミュニケーション学科	
			多文化コミュニケーション	2	2・3・4	選択必修		心理・コミュニケーション学科	
言語と心理	言語習得	第二言語習得基礎論A*	2	2・3	必修 2単位	国際英語学科/心理・コミュニケーション学科	履修年次は専攻の指定による		
		第二言語習得基礎論B*	2	2・3	必修 2単位	国際英語学科/心理・コミュニケーション学科	履修年次は専攻の指定による		
	言語理解		脳の科学	2	1・2・3・4	選択必修	総合教養科目		
			こころの科学	2	1・2・3・4	選択必修			
			こどものこころ	2	1・2・3・4	選択必修			
			言語コミュニケーション能力の発達	2	2・3・4	選択必修			心理・コミュニケーション学科
	異文化理解		異文化理解A	2	2・3	選択必修	4単位	国際英語学科	
			異文化理解B	2	2・3	選択必修	必修	国際英語学科	
			翻訳基礎論	2	2	選択必修		国際英語学科	
			翻訳学特論	2	2・3・4	選択必修		国際英語学科	
		文化心理学(文化と自己)	2	2・3・4	選択必修		心理・コミュニケーション学科		
		文化心理学(文化と認知)	2	2・3・4	選択必修		心理・コミュニケーション学科		
		文化心理学(グローバル社会)	2	2・3・4	選択必修		心理・コミュニケーション学科		
言語と教育	言語教育法	日本語教育研究Ⅰ*	2	3	必修 2単位	心理・コミュニケーション学科			
		日本語教育研究Ⅱ*	2	3	必修 2単位	心理・コミュニケーション学科			
		日本語教育実習*	4	4	必修 4単位	心理・コミュニケーション学科	通年科目		
		多文化コミュニケーション・デザイン	2	2・3・4	選択必修		心理・コミュニケーション学科		
	言語教育と情報		情報と社会	2	1・2・3・4	選択必修	総合教養科目		
			言語情報処理Ⅰ	2	2・3	選択必修	人文学科/心理・コミュニケーション学科		
			言語情報処理Ⅱ	2	2・3	選択必修	人文学科/心理・コミュニケーション学科		
			コミュニティと情報メディア	2	1・2・3	選択必修		国際社会学科	隔年開講
			メディアとことば	2	2・3・4	選択必修	4単位	心理・コミュニケーション学科	
			グローバルメディア	2	2・3・4	選択必修	必修	心理・コミュニケーション学科	
		デザイン心理(視覚)	2	2・3・4	選択必修		心理・コミュニケーション学科		
		デザイン心理(聴覚)	2	2・3・4	選択必修		心理・コミュニケーション学科		
	SNSコミュニティデザイン	2	2・3・4	選択必修		心理・コミュニケーション学科			



区分	授業科目	単位数	履修年次	日本語教員養成課程としての 必修・選択必修・選択の別	科目配置 学科等	備考	
言語一般	言語の構造	言語の多様性と普遍性A	2	2・3・4	選択必修	国際英語学科/心理・コミュニケーション学科	履修年次は専攻の指定による
		言語の多様性と普遍性B	2	2・3・4	選択必修	国際英語学科/心理・コミュニケーション学科	履修年次は専攻の指定による
		英語学(意味論)	2	3・4	選択必修	国際英語学科	隔年開講
		英語学(音韻論)	2	3・4	選択必修	国際英語学科	隔年開講
		英語学(形態・統語論)	2	3・4	選択必修	国際英語学科	隔年開講
	英語音声学	2	1	選択必修	国際英語学科		
	日本語の構造	日本語学概論Ⅰ	2	1・2・3	選択必修	4単位 人文学科	
		日本語学概論Ⅱ	2	1・2・3	選択必修	必修 人文学科	
		日本語史概論Ⅰ	2	1・2・3	選択必修	人文学科	
		日本語史概論Ⅱ	2	1・2・3	選択必修	人文学科	
		日本語学(表記・語彙)A	2	2・3・4	選択必修	人文学科/心理・コミュニケーション学科	
		日本語学(表記・語彙)B	2	2・3・4	選択必修	人文学科/心理・コミュニケーション学科	
		日本語学(文法・談話)A	2	2・3・4	選択必修	人文学科/心理・コミュニケーション学科	
	日本語学(文法・談話)B	2	2・3・4	選択必修	人文学科/心理・コミュニケーション学科		
コミュニケーション能力	Communication Skills A **	1	1	選択必修	外国語科目		
	Communication Skills B **	1	1	選択必修	外国語科目		
	Discussion Skills A **	1	2	選択必修	外国語科目		
	Discussion Skills B **	1	2	選択必修	外国語科目		
	Speaking Skills A	1	2・3・4	選択必修	外国語科目		
	Speaking Skills B	1	2・3・4	選択必修	外国語科目		
	Listening and Presentation A	1	2・3・4	選択必修	4単位 外国語科目		
	Listening and Presentation B	1	2・3・4	選択必修	必修 外国語科目		
	Critical Reading and Discussion A	1	2・3・4	選択必修	外国語科目		
	Critical Reading and Discussion B	1	2・3・4	選択必修	外国語科目		
	英語特別プログラム	2	2・3・4	選択必修	挑戦する知性科目	通年科目	
	日本語表現法	2	1・2限定	選択必修	日本語科目		
日本語Ⅰ(入門)***	4	1	選択必修	外国語科目	外国人留学生 対象		
日本語Ⅱ(応用)***	4	1	選択必修	外国語科目			
日本語教員養成課程の修了に必要な最低単位数				40単位			

- 注1. 日本語教員養成課程を履修する者は、2年次の履修登録時に所定の日本語教員養成課程登録を行うものとする。
2. 日本語教員養成課程を修了するには、下記のとおり単位を修得しなければならない。
- |        |             |        |
|--------|-------------|--------|
| 必修科目   | *印の7科目      | 計16単位  |
| 選択必修科目 | 6つの区分から各4単位 | 計24単位  |
|        |             | 合計40単位 |
3. 「日本語教育研究Ⅰ」「日本語教育研究Ⅱ」を履修するには、次の2科目計4単位を修得していなければならない。  
「日本語教育研究概論Ⅰ」又は「日本語教育研究概論Ⅱ」のうち1科目2単位  
「第二言語習得基礎論A」又は「第二言語習得基礎論B」のうち1科目2単位
4. 「日本語教育実習」を履修するには、次の5科目計10単位を修得していなければならない。  
「日本語教育研究概論Ⅰ」「日本語教育研究概論Ⅱ」「第二言語習得基礎論A」「第二言語習得基礎論B」  
の4科目8単位、「日本語教育研究Ⅰ」又は「日本語教育研究Ⅱ」のうち1科目2単位
5. 外国語科目の必修として修得した\*\*印の4科目4単位(ただし、国際英語学科の学生は3科目3単位)は、「コミュニケーション能力」の必修4単位(国際英語学科の学生は3単位)に充当できる。
6. 外国人留学生は、「コミュニケーション能力」の必修4単位を、外国語科目の必修として修得した\*\*\*印の「日本語Ⅰ(入門)」、「日本語Ⅱ(応用)」の2科目の単位をもって満たすことができる。



# XI. キャリア・イングリッシュ課程

## キャリア・イングリッシュ課程の概要

キャリア・イングリッシュ課程では、国際社会における活動を可能とする「行動的な英語力」を身につけることを目的とし、選抜を経て課程登録を行った学生を対象に、2年次、3年次、4年次の3年間にわたって英語で自己発信する力を培います。将来英語を使ったキャリアを目指し、プレゼンテーション、ディスカッション、および、そのための思考訓練、リサーチの方法、論旨構成法、英語表現法等の総合的な学習活動を行います。

「キャリア・イングリッシュ・アイランド<sup>※</sup>」は、全学生に開放され国際社会で通用する「行動的な英語力」を養成するプログラムを提供しています。発音や発話、プレゼンテーションやディスカッションをトレーニングするための施設「アイランド」で、課程生は積極的に活動してください。

※2004年度文部科学省「現代GPプログラム」採択

## 【到達目標】

- リベラル・アーツ教育をとおして培われる識見と語学力をもとに、国際社会で活動できる「行動的な英語力」を身につけた人材を育成する。
- プレゼンテーション、ディスカッション、および、そのための思考力、リサーチ方法、論旨構成法、英語表現法等の総合的な力を身につける。

## 【教育課程の構成】 課程修了に必要な最低単位数：42単位

- ① コミュニケーション能力育成科目：英語による発言力・表現力を身につける。  
(国際英語学科：必修18科目計24単位 国際英語学科以外：必修20科目26単位)
- ② キャリア探求英語科目：ニーズに特化した英語力を重点的に強化する。(選択必修4単位) \*
- ③ グローバル・ビジョン拡大科目：国際社会で活躍するための知見と素養、および情報の分析・発表技法を身につける。(選択必修12単位) \*

\*国際英語学科は上記に加え、②・③の科目から2単位選択必修とする。

## 【履 修】

本課程を履修する学生は、英語力、基礎学力、積極性、学習意欲ともに十分であり、かつかなりの勉強時間を傾注することが求められます。選抜を経て課程登録を許可された学生は、卒業までの3年間にわたり、本課程の教育課程の定めに従って授業科目を履修します。本課程の履修は、日常的に様々な学習活動やトレーニングが課せられます。所属学科の学業と併行して進めるためにも、クラブ活動やアルバイトは学業に支障のない範囲とし、2年次からしっかりと履修計画を立てることが必要です。なお、教職課程・学芸員課程等との並行履修は時間割も含めて両立は難しいです。

また、本課程は、段階的に履修を重ねる教育課程であるため、進級不可または本課程必修科目の履修条件となっている科目の不合格により、本課程の修了の見込みがないと判断された場合は、本課程登録が取り消されます。

なお、履修登録に当たっては、授業開始に先立ち、予備登録やクラス分けを行う科目が多数ありますので、必ず説明会に出席し、掲示に注意してください。

履修期間：2年次から卒業までの原則として3年間  
(留学等特別の事情のある学生については、期間延長を認める場合がある。)

### 【課程登録・本課程の授業科目の履修に必要な費用】

- ・キャリア・イングリッシュ課程を履修するためには、毎年4月に課程履修費の納入が必要です。
- ・本課程の選択必修科目の一つである「英語特別プログラム」を履修する場合は、所定の受講料が必要です(東京女子大学学費その他納入規程参照のこと)。それ以外の授業科目の履修には、特別な費用は必要ありません。

### 【修了の要件】

以下に定める3つの要件および卒業要件を満たした場合に、修了を認定します。

- ・卒業論文または専門分野での研究の要旨を英語で発表し、質疑応答などを行う「プレゼンテーション実技試験」に合格
- ・キャリア・イングリッシュ課程の修了に必要な授業科目の単位を修得
- ・英語の外部試験で所定のスコアを獲得(具体的なスコアは別途定める)

修了者には、卒業時に「キャリア・イングリッシュ課程修了証」を交付します。なお、優秀な成績を修めた者を表彰します。

### 【選 抜】

次年度(2021年度)課程登録者は、今年度(2020年度)に現代教養学部の1年次に在学する者から、英語能力統一テスト、学業成績、面接、提出書類による総合的な審査に基づき、60名程度を選抜します。

応募資格：下記①、②の両方に該当する者

- ① 今年度に現代教養学部の1年次に在学し、次年度4月に2年次に進級見込の者
- ② 次の「課程登録の条件」に定める単位を今年度末に修得見込の者

### 【課程登録の条件】

下記条件を満たさない者は、課程登録が許可されません。

次年度(2021年度)に課程登録をするには、下記の4科目計4単位を含め、今年度末(2020年度末)に30単位以上を修得している必要があります。

Communication Skills A

Communication Skills B

Reading I A

Reading I B

## キャリア・イングリッシュ課程の説明会等（募集・選抜・履修関係）について

キャリア・イングリッシュ課程生になるには以下の募集スケジュールに従ってください。  
キャリア・イングリッシュ課程を履修するには、選抜を経た上で、所定の課程登録、授業科目の履修登録の他、次のとおりオリエンテーションへの参加および所定の手続きが必要です。いずれも日時、会場等の詳細は、実施の1か月位前に学務課掲示板に掲示するので、各自掲示に注意して、説明会等には必ず出席してください。

### <募集スケジュール（1年次学生対象）>

1. 説明会Ⅰ 6月（今年度は6月22日（月）12時30分～13時10分）  
11月（日時は掲示による）  
対象：キャリア・イングリッシュ課程の履修を希望する1年次学生  
内容：① キャリア・イングリッシュ課程の概要および履修方法・履修の条件について  
② 出願手続きについて<募集要項の配布>  
③ 選抜方法について ④ 履修希望調査 他
2. キャリア・イングリッシュ課程への出願 11月下旬～12月上旬  
志願票の提出（詳細は、説明会Ⅰで配布する「募集要項」による）
3. 選 抜  
英語能力統一テスト（TOEIC®IP）、学業成績、提出書類により総合的に審査します。募集人数に満たない場合でも能力が一定の基準に達しているかで選抜します。  
・英語能力統一テスト（TOEIC®IP）（今年度は12月12日（土）実施）  
・面接（1月下旬～2月初旬実施）
4. 最終選抜結果の発表 4月初旬

### <キャリア・イングリッシュ課程生向けオリエンテーション>

1. 2年次の4月初旬（今年度は4月2日（木）11時～） **説明会Ⅱ**  
対象：選抜に合格した2年次学生  
内容：① 課程登録について  
② 課程履修費（本課程の履修に関連して行う諸活動のための費用）の納入について  
③ 履修計画について  
④ 2年次必修科目（演習）のクラス分け  
⑤ e-Learningなどの課外の学習 他
2. 2年次の4月 **キャリア・イングリッシュ課程登録**（今年度は4月2日（木）・3日（金）・6日（月））  
・課程履修費を納入  
・履修登録時に Web システムにて申請を行うこと。
3. 3年次の4月初旬（今年度は4月2日（木）9時～） **説明会Ⅲ**  
対象：当年度に3年次必修科目の履修登録をする3年次学生  
内容：① 履修計画について ② 課程履修費の納入について  
③ 3年次必修科目（演習）のクラス分け
4. 4年次の4月初旬（今年度は4月2日（木）10時～） **説明会Ⅳ**  
対象：当年度に4年次必修科目の履修登録をする4年次学生  
内容：① 履修計画について ② 課程履修費の納入について  
③ 4年次必修科目（演習）のクラス分け  
④ プレゼンテーション実技試験について

キャリア・イングリッシュ課程について不明の点は、以下の部署で確認して下さい。

履修方法・課程登録・修了証の取得要件についての質問……………学務課  
授業についての質問……………各科目の配置学科等

キャリア・イングリッシュ課程 教育課程 【2018年度以降入学者に適用】

- 注 1 キャリア・イングリッシュ課程を履修する者は、所定の選考を経て、2年次の履修登録時にキャリア・イングリッシュ課程登録を行うものとする。
- 2 キャリア・イングリッシュ課程を修了するには、下記のとおり単位を修得しなければならない。
- |        |                |          |
|--------|----------------|----------|
| 必修科目   | 20科目計26単位      | } 合計42単位 |
| 選択必修科目 | 3つの区分から所定の16単位 |          |
- ただし、国際英語学科の学生については、下記の通りとする。
- |        |                                   |          |
|--------|-----------------------------------|----------|
| 必修科目   | 18科目計24単位                         | } 合計42単位 |
| 選択必修科目 | 3つの区分から所定の16単位、それに加え3つの区分から2単位(*) |          |
- 3 「Critical Thinking演習」、「発話・パフォーマンス演習」を履修するには、以下の科目の単位を修得していなければならない。
- ※印の科目のうち1年次必修の4科目計4単位
- ただし、国際英語学科の学生及びキャリア・イングリッシュ課程の学生のうち認められた学生は、国際英語学科の「Critical Thinking」(2年次前期)を履修することをもって「Critical Thinking演習」に代えることができる。
- 4 「討論演習Ⅰ」を履修するには、原則として以下の科目の単位を修得していなければならない。
- ※印の8科目(ただし国際英語学科の学生は6科目)、「Critical Thinking演習」及び「発話・パフォーマンス演習」の10科目計12単位
- なお、2年次後期に「東京女子大学外国留学に関する規程」に定める留学をする学生に関しては、履修方法について考慮する場合がある。
- 5 「討論演習Ⅱ」を履修するには、原則として以下の科目の単位を修得していなければならない。
- ※印の8科目(ただし国際英語学科の学生は6科目)、「Critical Thinking演習」、「発話・パフォーマンス演習」及び「討論演習Ⅰ」の11科目計14単位
- なお、2年次後期及び3年次前期に「東京女子大学外国留学に関する規程」に定める留学をする学生に関しては、履修方法について考慮する場合がある。
- 6 「Total Presentation演習1」を履修するには、以下の科目の単位を修得していなければならない。
- ※印の8科目(ただし国際英語学科の学生は6科目)、「Critical Thinking演習」、「発話・パフォーマンス演習」、「討論演習Ⅰ」及び「討論演習Ⅱ」の12科目計16単位
- なお、2年次後期及び3年次前期に「東京女子大学外国留学に関する規程」に定める留学をする学生に関しては、履修方法について考慮する場合がある。
- 7 「Total Presentation演習2」を履修するには、以下の科目の単位を修得していなければならない。
- ※印の8科目(ただし国際英語学科の学生は6科目)、「Critical Thinking演習」、「発話・パフォーマンス演習」、「討論演習Ⅰ」及び「討論演習Ⅱ」、「Total Presentation演習1」の13科目計17単位
- 8 外国人正規課程留学生は、※印の科目のうち4科目4単位を、以下の科目の単位をもって代えることができる。
- 「キャリア探求英語科目」の必修4単位を超えて履修する4科目4単位
- 9 国際英語学科の学生は、※※印の「Academic Writing A」1科目1単位、「Academic Writing B」1科目1単位、又は「Academic Writing A」及び「Academic Writing B」2科目2単位を、以下の科目の単位をもって代えることができる。
- 「キャリア探求英語科目」の必修4単位を超えて履修する1科目1単位、1科目2単位又は2科目2単位

履修の手引

区分	授業科目	単位数	履修年次	キャリア・イングリッシュ課程としての必修・選択必修・選択の別		科目設置区分	備考
				国際英語学科以外	国際英語学科		
コミュニケーション能力育成科目	Communication Skills A ※	1	1	必修		外国語科目	
	Communication Skills B ※	1	1	必修		外国語科目	
	Discussion Skills A ※	1	2	必修		外国語科目	
	Discussion Skills B ※	1	2	必修		国際英語学科は免除 外国語科目	
	Reading I A ※	1	1	必修		外国語科目	
	Reading I B ※	1	1	必修		外国語科目	
	Reading II A ※	1	2	必修		外国語科目	
	Reading II B ※	1	2	必修		国際英語学科は免除 外国語科目	
	Critical Reading and Discussion A	1	2・3・4	必修		外国語科目	
	Critical Reading and Discussion B	1	2・3・4	必修	26単位	24単位 外国語科目	
	Listening and Presentation A	1	2・3・4	必修	必修	必修 外国語科目	
	Listening and Presentation B	1	2・3・4	必修		外国語科目	
	Academic Writing A ※※	1	2・3・4	必修		外国語科目	
	Academic Writing B ※※	1	2・3・4	必修		外国語科目	
	Critical Thinking演習	2	2	必修		挑戦する知性科目	
	発話・パフォーマンス演習	2	2	必修		挑戦する知性科目	
	討論演習Ⅰ	2	3	必修		挑戦する知性科目	
	討論演習Ⅱ	2	3	必修		挑戦する知性科目	
Total Presentation 演習1	2	4	必修		挑戦する知性科目		
Total Presentation 演習2	2	4	必修		挑戦する知性科目		
キャリア探求英語科目	Translation A	1	2・3・4	選択必修		外国語科目	
	Translation B	1	2・3・4	選択必修		外国語科目	
	English through Drama A	1	2・3・4	選択必修		外国語科目	
	English through Drama B	1	2・3・4	選択必修		外国語科目	
	Speaking Skills A	1	2・3・4	選択必修		外国語科目	
	Speaking Skills B	1	2・3・4	選択必修		外国語科目	
	Journalistic English A	1	2・3・4	選択必修		外国語科目	
	Journalistic English B	1	2・3・4	選択必修	4単位	4単位 外国語科目	
	TOEIC講座	1	1・2・3・4	選択必修	必修	必修 外国語科目	次頁及び*参照
	TOEFL講座	1	1・2・3・4	選択必修		外国語科目	
	IELTS講座	1	1・2・3・4	選択必修		外国語科目	
	Business English A	1	2・3・4	選択必修		外国語科目	
	Business English B	1	2・3・4	選択必修		外国語科目	
	Tour Guide Interpreting A	1	2・3・4	選択必修		外国語科目	
	Tour Guide Interpreting B	1	2・3・4	選択必修		外国語科目	
英語特別プログラム	2	2・3・4	選択必修		挑戦する知性科目	通年科目	

区分	授業科目	単位数	履修年次	キャリア・イングリッシュ課程としての必修・選択必修・選択の別				科目設置区分	備考
				国際英語学科以外	国際英語学科				
思考ツール習熟科目	情報処理技法(マルチメディアと表現)Ⅰ	2	1・2・3・4	選択必修				情報処理科目	
	情報処理技法(マルチメディアと表現)Ⅱ	2	2・3・4	選択必修				情報処理科目	
	情報処理技法(Webでの情報表現)	2	2・3・4	選択必修	2単位	2単位		情報処理科目	
	情報処理技法(統計解析)	2	2・3・4	選択必修	必修	必修		情報処理科目	
	統計のしくみ	2	1・2・3・4	選択必修				総合教養科目	
	統計分析を学ぶ	2	1・2・3・4	選択必修				総合教養科目	
グローバル・ビジョン国際的キャリア能力開発科目	キャリアデザインを描く	2	1・2・3・4	選択必修				総合教養科目	
	国際協力とジェンダー	2	1・2・3・4	選択必修				総合教養科目	
	国際社会と女性の人権	2	1・2・3・4	選択必修				総合教養科目	
	自然環境と人間社会	2	1・2・3・4	選択必修				総合教養科目	
	ことばの世界	2	1・2・3・4	選択必修				総合教養科目	
	世界の地域と民族	2	1・2・3・4	選択必修				総合教養科目	
	ヨーロッパの歴史と文化	2	1・2・3・4	選択必修				総合教養科目	
	アメリカの歴史と文化	2	1・2・3・4	選択必修				総合教養科目	
	ラテンアメリカの歴史と文化	2	1・2・3・4	選択必修				総合教養科目	
	アジアの歴史と文化	2	1・2・3・4	選択必修				総合教養科目	
	国際社会と人権	2	1・2・3・4	選択必修				総合教養科目	
	情報と社会	2	1・2・3・4	選択必修				総合教養科目	
	国際社会と日本	2	1・2・3・4	選択必修				総合教養科目	
	平和学	2	1・2・3・4	選択必修				総合教養科目	
	ヨーロッパの比較政治	2	1・2・3・4	選択必修				総合教養科目	隔年開講
	アジアの比較政治	2	1・2・3・4	選択必修				総合教養科目	隔年開講
	日本経済のしくみ	2	1・2・3・4	選択必修				総合教養科目	
	グローバル経済のしくみ	2	1・2・3・4	選択必修		*		総合教養科目	隔年開講
	アジアの経済事情	2	1・2・3・4	選択必修				総合教養科目	隔年開講
	国際金融と貿易	2	1・2・3・4	選択必修				総合教養科目	
	ケンブリッジ教養講座	2	2・3・4	選択必修	10単位	10単位		挑戦する知性科目	通年科目
	PBLキャリア構築講座	2	2・3・4	選択必修	必修	必修		挑戦する知性科目	
	Japanese Culture & Literature	2	2・3	選択必修				国際英語学科/人文学科(日)	
	比較文化A	2	2・3・4	選択必修				国際英語学科/人文学科(日)	隔年開講
	比較文化B	2	2・3・4	選択必修				国際英語学科/人文学科(日)	隔年開講
	表象文化A	2	2・3・4	選択必修				国際英語学科/人文学科(日)	隔年開講
	表象文化B	2	2・3・4	選択必修				国際英語学科/人文学科(日)	隔年開講
	世界遺産学A	2	2・3・4	選択必修				人文学科(国)/国際社会科学科(国)	隔年開講
	世界遺産学B	2	2・3・4	選択必修				人文学科(国)/国際社会科学科(国)	隔年開講
	国際関係史	2	1・2	選択必修				国際社会科学科(国)	
	人種・民族・国民	2	2・3・4	選択必修				国際社会科学科(国)	隔年開講
	国際機構論	2	2・3・4	選択必修				国際社会科学科(国)	
	人間の安全保障	2	2・3	選択必修				国際社会科学科(国)	
	開発経済学	2	2・3・4	選択必修				国際社会科学科(経)	
	マーケティング	2	2・3・4	選択必修				国際社会科学科(経)	
	国際経済学	2	2・3・4	選択必修				国際社会科学科(経)	
	女性起業論	2	2・3・4	選択必修				国際社会科学科(経)	隔年開講
	国際社会学	2	2・3・4	選択必修				国際社会科学科(社)	隔年開講
	グローバル化の社会学	2	2・3・4	選択必修				国際社会科学科(社)	隔年開講
	文化心理学(文化と自己)	2	2・3・4	選択必修				心理・コミュニケーション学科(心)	
文化心理学(文化と認知)	2	2・3・4	選択必修				心理・コミュニケーション学科(心)		
メディア史	2	2・3・4	選択必修				心理・コミュニケーション学科(心)		
多文化コミュニケーション	2	2・3・4	選択必修				心理・コミュニケーション学科(心)		
対人コミュニケーション(社会)	2	2・3・4	選択必修				心理・コミュニケーション学科(心)		
コミュニケーションと女性のキャリア	2	2・3・4	選択必修				心理・コミュニケーション学科(心)		
メディア心理学	2	2・3・4	選択必修				心理・コミュニケーション学科(心)		
ジャーナリズムと現代社会	2	2・3・4	選択必修				心理・コミュニケーション学科(心)		
キャリア・イングリッシュ課程修了に必要な最低単位数				42単位					

## キャリア・イングリッシュ課程 履修モデル

〔2018 年度以降に1年次に入学した者に適用〕

(太字は必修科目)

### ■履修モデル A (国際ビジネス志向のキャリア育成) 外資系企業、国際商取引 等

1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
<p>Communication Skills A・B</p> <p>Reading I A・I B</p> <p>TOEIC講座</p> <p>キャリアデザインを描く 国際社会と女性の人権 ことばの世界 アジアの経済事情 の中から2科目4単位</p> <p style="text-align: center;">計 7 科目 9 単位</p>	<p>Discussion Skills A・B</p> <p>Reading II A・II B</p> <p>Listening and Presentation A・B</p> <p>Critical Thinking 演習</p> <p><b>発話・パフォーマンス演習</b> 情報処理技法 (マルチメディアと表現) II 国際社会と日本 グローバル経済のしくみ</p> <p style="text-align: center;">計 11 科目 16 単位</p>	<p>Critical Reading and Discussion A・B</p> <p>Academic Writing A・B</p> <p><b>討論演習1・2</b></p> <p>英語特別プログラム</p> <p>Journalistic English A</p> <p style="text-align: center;">計 8 科目 11 単位</p>	<p><b>Total Presentation 演習1・2</b> コミュニケーションと女性のキャリア</p> <p style="text-align: center;">計 3 科目 6 単位</p>
合計 29 科目 42 単位			

### ■履修モデル B (国際平和貢献志向のキャリア育成) 国際公務員、NGO、NPO、国際ジャーナリスト 等

1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
<p>Communication Skills A・B</p> <p>Reading I A・I B</p> <p>TOEFL講座</p> <p>国際協力とジェンダー 自然環境と人間社会</p> <p style="text-align: center;">計 7 科目 9 単位</p>	<p>Discussion Skills A・B</p> <p>Reading II A・II B</p> <p>Listening and Presentation A・B</p> <p>Critical Thinking 演習</p> <p><b>発話・パフォーマンス演習</b> 情報処理技法 (マルチメディアと表現) I 国際機構論 多文化コミュニケーション</p> <p style="text-align: center;">計 11 科目 16 単位</p>	<p>Critical Reading and Discussion A・B</p> <p>Academic Writing A・B</p> <p><b>討論演習1・2</b></p> <p>英語特別プログラム</p> <p>Journalistic English A</p> <p style="text-align: center;">計 8 科目 11 単位</p>	<p><b>Total Presentation 演習1・2</b> 国際社会と日本</p> <p style="text-align: center;">計 3 科目 6 単位</p>
合計 29 科目 42 単位			



## キャリア・イングリッシュ Q&A

**Q 1 : 「キャリア・イングリッシュ・アイランド」と「キャリア・イングリッシュ課程」はどう違うの？**

A : 「キャリア・イングリッシュ・アイランド」とは、プレゼンテーション能力を含み、英語によって発言、発信する力を飛躍的に高めることによって、国際社会で積極的に仕事で活躍できる英語力という意味での「行動的な英語力」を育成するプログラムの名称で、2本柱で成り立っています。ひとつは、同じ「キャリア・イングリッシュ・アイランド」という名前の施設で、全学の希望学生を対象に、セミナーや講演会の開催、英会話トレーニング、e-Learningによる4技能訓練、キャリアや英語に関する図書の貸し出しなどを行っています。もうひとつの柱である「キャリア・イングリッシュ課程」は、「キャリア・イングリッシュ・アイランド」で推進している教育プログラムのひとつで、1年次の希望者の中から試験や面接で選抜した学生を対象に、2～4年次の3年間にわたって、英語で発表や議論をする力を育成し、国際社会で活躍のできる英語力を身につけることを目的とした正規の教育課程です。

**Q 2 : 「キャリア・イングリッシュ課程」を履修するためにはどうすればいいの？**

A : まず、特に英語を中心に、1年次の勉学をきちんとすることが大事です。ただし、英語力だけでなく、学習に対する意欲や資質などを重視して選抜しますので、将来のビジョンや目的意識を明確にして応募することが重要です。

**Q 3 : 「キャリア・イングリッシュ課程」に入らなければ、そこでするような学習はできないの？**

A : 課程だけの特別な演習科目は受けられませんが、同様のトレーニング（サービス）を「アイランド」で提供します。課程に入らなくても「アイランド」の英会話トレーニングなどを活用して、自主的にマイペースで力をつけるという方法もあります。

**Q 4 : 「キャリア・イングリッシュ課程」と教職課程などは同時にとれるの？**

A : 時間割の保証はありません。課題が多く出されますので、慎重に学習計画を立てることと相当の意欲を持って臨むことが必要です。

**Q 5 : 英語は苦手ですが、「アイランド」は利用できるの？**

A : そういう人こそ「アイランド」のイベントに参加してみてください。また、英語の学習上の相談にも応じますので、1年次のうちから、ためらわずに「アイランド」へどうぞ。

**Q 6 : キャリア・イングリッシュ課程を履修しながら、留学はできるの？**

A : 可能です。ただし、3年間で課程を修め4年間で卒業するには、留学の期間は2年次後期または3年次前期の半期、または2年次後期から3年次前期の1年間です。早めの準備が必要です。履修と留学の準備を計画的に進められるよう、1年次6月の説明会Ⅰに参加し、学務課に相談してください。

詳しくは、大学のホームページから「キャリア・イングリッシュ・アイランド」を参照してください。

## XII. 副 専 攻

副専攻は、所属学科の専門分野以外の学問領域や専門分野に関連する学問領域について、関心を深め、学際的な視点を養うことを目的に設置されています。各自の問題意識、学習の目標に応じ、専門を超えた学習の場を提供するために、「キリスト教学」、「女性学・ジェンダー」、「比較文化」という3つのテーマの副専攻を設置しています。学際的な知見を蓄積することは、所属学科・専攻の学習にも大いに役立ちます。

### 副専攻課程の説明会・履修相談会について

1. 2・3年次の4月（今年度は4月3日（金）11時～12時）  
対象：副専攻登録を予定している2・3年次学生  
（副専攻の課程を履修中の3・4年次学生も可）  
内容：3領域の副専攻コーディネーターによる履修相談
2. 1・2年次の6月（今年度は6月24日（水）12時30分～13時10分）  
対象：副専攻課程の履修を希望する1・2年次学生  
内容：① 副専攻課程の概要および履修方法について  
② 3領域の副専攻コーディネーターによる説明
3. 1～4年次の9月～10月（日時は掲示を確認すること）  
対象：副専攻課程の履修を希望する1・2年次学生  
副専攻の課程を履修中の2・3・4年次学生  
内容：3領域の副専攻コーディネーターによる履修相談

### 1. 副専攻の到達 目標

- 所属する学科・専攻以外の学問領域や専攻に隣接する学問領域についての関心を深め、学際的な視点を養う。
- 多様な科目からテーマに合致する授業科目を一つのまとまりを持った学問領域として体系的に構成し、主体的な学びの機会を提供する。

### 2. 副専攻の領域

〔履修規程〕  
第24条

- 次の3つの副専攻の課程が置かれています。（登録できるのは1人1副専攻）
- (1) キリスト教学副専攻
  - (2) 女性学・ジェンダー副専攻
  - (3) 比較文化副専攻